

竹野地域に整備する義務教育学校の校名（仮称）について

1 校名（仮称）^{とよかしりつたけのがくえん}豊岡市立竹野学園（2025年度開校予定）

（教育委員会での選定理由）

- ・すっきりした名称であり、子どもにとっても地域住民にとってもなじみやすく、親しみやすいと思われること。
- ・これまでの小学校・中学校から、新たに義務教育学校となる学校名として「学園」とすることがふさわしいと考えること。
- ・義務教育学校では、全国的に「〇〇学園」を使用している例が多いこと。

2 選定の経緯

2023年 8月30日	第3回 竹野地域小中一貫校開設準備委員会において、校名の選定方法を協議 ・竹野小学校、竹野中学校の児童生徒から校名候補を募集 ・候補の中から準備委員会委員の投票で複数案に絞る
10月23日～ 31日	児童生徒を対象とし、校名候補を募集 ・応募総数 43人、62点
12月4日	第4回 竹野地域小中一貫校開設準備委員会において、3点の校名候補を選定
12月21日	第9回 定例教育委員会において、3点の校名候補の中から「豊岡市立竹野学園」を選定 ※以降、正式決定までは「仮称」を付記する

3 竹野地域小中一貫校開設準備委員会により選定した校名候補（3点）

(1) 豊岡市立^{たけのがくえん}竹野学園

- 小学校・中学校という学校種の枠にとらわれない新しい学校というイメージ
- 竹野地区の高齢者学級が同じ名前だが、豊岡市立が付くので問題ない
- 学年段階の区切りが6－3制以外になっても違和感がない
- 全国的にも「〇〇学園」という名称の採用数が多くシンプルで良い
- △ 竹野地区の高齢者学級が同じ名前前で、混同するのではないか

(2) 豊岡市立^{たけのしょうちゅうがっこう}竹野小中学校

- なじみやすく言いやすい。他者にも伝えやすい
- 今までの竹野小学校、中学校のなごりが残せる
- 小中一貫校としてのイメージがしやすい
- 竹野地域の学校として単純明快である
- 学校が入っている方が良い
- △ 部活の大会や発表会の時、中学校か小学校かわからないと言われそう

(3) 豊岡市立 ^{たけの}竹野 ^{がくえん}なぎさ学 園

- 竹野といえば海。そのイメージとして“なぎさ”を入れたい
- 竹野地区の高齢者学級と区分できる
- 新しい学校のイメージ
- 学年段階の区切りが6－3制以外になっても違和感がない
- △ 中竹野地区、竹野南地区の住民は、どのようにとらえるだろうか

4 学校名の正式決定について

豊岡市竹野地域小中一貫校開設準備委員会での一定の協議が終わり次第、関連条例の改正案を市議会に諮り、議決をもって正式決定とする予定。

(目安として2024年9月または12月議会)